

右の者去年年初元お奔りし一宗室にお水山を
隔て居るより進石中忍ん出帯は月以年町家百
姓宿に不入口戸明き有し人石居合り自立入
又て明き有し窓より入引出しそ糸を付還
遊上元敷方衣れ其外八町盗元帯を拂取
て急用いし右帯拂代を貴と而も不居是程
は候不届自手進拂中付拾五糸近身寄よ
直に付金

右の者の翌子正月十九日進拂せと

④

上野水二年も寺よりして伊藤と作と事し心書付の候

水野大監物

父御命書弟當年と

市慶事と寺後り折柄と付出格と候と心今物氣
痔事と入る三田中忍御代居格が候り候し不若い

杉平内膳書

⑤

亡父より書付の御事と申す年

文恭渡振七回りと候りしと法教と有し折柄
と付格と候し

と候りし折柄と申す年

右行儀の事と申す年と申す年と申す年と